

東京大学附属図書館  
アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門  
東アジア（韓国朝鮮）地域担当特任研究員公募

活動方針と公募の趣旨

アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門、通称U-PARLは、東京大学附属図書館に設置された研究部門です。この寄付研究部門は、アジア研究図書館の開館と運営、サブジェクト・ライブラリアンに代表される研究図書館機能研究を目的に立ち上りました。一期5年で活動して参りましたが、令和6（2024）年度より第3期が始まり、シンポジウムや一般向けのイベント開催、資料の整理、公開など、活動の場を広げています。

第3期の活動目的は大きく分けて4つ有ります。最初の目標は、現在の日本社会が向かう先にある、いわゆるSociety5.0と呼ばれる、デジタル化が進んだ社会における人の生き方を考えます。この大きな問題に切り込むために、東大の各部局の先生方や大学院生、学士課程の学生の協力を仰ぎ、人的組織としての「フォーラム」を形成したいと考えています。このフォーラムを「東西融合・文理融合フォーラム」と命名し、「Society5.0における人の生き方」を総合テーマとして研究や講演を行います。すでに第3期の特任教員・特任研究員として採用された方々は、具体的な問題を提起し、協力する先生方とともにワークショップを行い、大きな場としての「フォーラム」年次大会を開催しています。そして、大事な問題については別途、大きな講演会につなげていきたいと考えています。

つぎに第2の柱は研究資源のデジタル化の推進ならびにその研究です。東大に所蔵される研究資源を世界の研究者や一般の方も含めた誰もが容易にアクセスできるようにするには、デジタル化して公開する方法が最適と考えられます。U-PARLでは第1期から教員、研究員が各自の専門的見地から選定した学内所蔵の文献資料のデジタル化公開に取り組んで参りましたが、第3期ではそれを更に推し進めながら、デジタル化した研究資料をどのように活用できるかの研究、およびその実践にも取り組んで参ります。

第3の柱はアジア研究図書館の運営です。U-PARLの第1期にはその創設のために、第2期にはそれを軌道に乗せて資料を充実させるために、尽力して参りました。第3期も引き続きアジア研究図書館の収蔵資料の充実に関わっていきます。またもう一つの大切な使命は、研究者のための研究支援活動です。この活動は始まったばかりですが、アジア研究図書館の新しい機能の一つですので、研究開発部門(RASARL)の方々とともにこの機能を担っていきます。

第4の柱は、社会還元・広報活動です。若手の育成、学問の活性化を可能にするとともに、研究の成果を広く社会と共有することを目指します。

U-PARLの第3期は、現在のデジタル社会が抱える問題を正面から研究し、社会に発信するとともに、アジア研究図書館の充実のために行う研究や支援を使命と考えています。このような使命を達成するために、まずは、人文社会科学、応用科学を関心の対象として研究を進め、かつデジタル・トランスフォーメーションやデジタル・ヒューマニティーズに理解のある人材を求めます。図書館の寄付研究部門の一員として、新たな学問の地平を切り開き、社会に貢献していくことを喜びとする、有意な方々の応募を心より期待しています。

以上

1) 職名及び人数：特任研究員 1名

2) 契約期間：令和 7 年 5 月 1 日～令和 10 年 3 月 31 日

3) 更新の有無：更新する場合があり得る。更新する場合は、契約期間満了日の翌日に行う。

ただし、更新回数は 1 回、在職できる期間は令和 11 年 3 月 31 日までを限度とする。

更新は、予算の状況、従事している業務の進捗状況、契約期間満了時の業務量、勤務成績、勤務態度、健康状況等を考慮のうえ判断する。

4) 職務内容：①文理融合・東西融合の研究及びその促進 ②デジタル化の研究に関する諸業務 ③アジア研究図書館の運営に関する諸業務 ④社会還元・広報活動に関する諸業務 ⑤その他部門の運営に関して部門長が必要と認めた業務等に従事する

※変更の範囲：配置換、兼務及び出向を命じることがある。

5) 応募資格：次の要件を満たしていること

- 1) 博士の学位を有する者、又はそれと同等の研究業績もしくは特筆すべき業務経験（図書館業務を含む）を有すると認められる者
- 2) 上記の職務を遂行するための技術・知識を有すること。特に、学内外の他機関所属の研究者と協働して、文理融合・東西融合の研究等の促進を主導できること
- 3) 韓国朝鮮語に関する能力があること
- 4) 日本語による意思疎通に支障がないこと、国籍不問

6) 提出書類：

- JREC IN Portal から Web 応募を行なってください。
  - 応募方法については下記の「電子ファイルの送付方法について」を参照すること
- (1) 履歴書（東京大学統一履歴書を以下の URL からダウンロードし作成)  
URL: <https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html>
  - (2) 研究業績リスト（カタログ・解題等も研究業績に含めることができます。査読つき学術誌掲載論文には、タイトルの前に○を付すこと）
  - (3) 主要業績 3 件 論文の別刷（コピー可）  
但し、業績が単著による著書の場合は原本を郵送（電子ファイルは省略可）、共著による著書の場合は原本または執筆部分（コピー可）（電子ファイルは省略可）
  - (4) (3) の各業績の要旨（各 400 字以内、日本語、形式自由）
  - (5) 志望動機（2,000 字程度）

7) 試用期間：採用された日から 14 日間

8) 勤務地：東京都文京区本郷 7-3-1 本郷キャンパス

※変更の範囲：原則同一部局内

- 9) 就業日・就業時間：専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分・週5日勤務したものとみなされる。
- 10) 休日：土・日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
- 11) 休暇：年次有給休暇、特別休暇、等
- 12) 給与：年俸制を適用し、業績・成果手当を含め月額 35 万円～40 万程度（資格、能力、経験等に応じて決定する）、通勤手当（原則 55,000 円／月まで）
- 13) 加入保険：文部科学省共済組合、雇用保険に加入
- 14) 応募締切：令和7年3月21日（金）15時必着
- 15) 問合せ先（書籍送付先）：  
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学附属図書館総務チーム  
書籍送付の場合は、封筒に「アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門 東アジア（韓国朝鮮）担当特任研究員応募書類在中」と朱書きし、書留で郵送  
電話：03-5841-2603 e-mail: [shomu.lib@gs.mail.u-tokyo.ac.jp](mailto:shomu.lib@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)
- 16) 選考方法：書類選考の上、必要に応じ面接を実施（日本語で実施。オンラインまたは対面で行います。）
- 17) 募集者名称：国立大学法人東京大学
- 18) 受動喫煙防止措置の状況：敷地内禁煙（屋外に喫煙場所あり）
- 19) その他：
- (1) 応募書類は返却せず、本選考の用途の限りに使用し、個人情報は正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与することは一切ありません。
  - (2) 選考にかかる旅費は一切支給しません。
  - (3) アジア研究図書館計画と本部門については、部門のホームページをご覧ください。  
URL : <https://u-parl.lib.u-tokyo.ac.jp/>
  - (4) 本学では、男女共同参画の推進に取り組んでいます。詳細は、下記のホームページをご覧ください。  
URL : <https://www.u-tokyo.ac.jp/kyodo-sankaku/ja/index.html>
  - (5) 応募者は事前に必ず「東京大学の科学研究行動規範リーフレット」に目を通してください。  
URL: <https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/research/ethics/index.html>
  - (6) 採用時点で、外国法人、外国政府等と個人として契約している場合や、外国政府等から金銭その他の重大な利益を得ている場合、外為法の定めにより、一定の技術の共有が制限され、結果として本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性がある。このような場合、当該契約・利益については、職務に必要な技術の共有に

支障のない範囲に留める必要がある。

20) 電子ファイルの送付方法について

JREC IN Portal から Web 応募を行なってください。

- ・下記 JREC IN ホーム画面から「求人公募情報検索」の「フリーワード検索」で「東京大学 アジア研究図書館」と入力し、本件の公募情報を検索してください。

URL : <https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop>

- ・JREC IN では、応募者が添付できる書類は 1 ファイルのみに限られています。すべての応募書類を 1 つの PDF ファイルにまとめてください。

- ・ファイルサイズが 20MB 以下であることをご確認のうえ、提出してください。

- ・Web 応募の利用方法に関しては、以下をご覧ください。

URL : [jrec-in-portal\\_user\\_manual\\_ja.pdf](#)